

千葉市議会議員(若葉区選出)

秋山あたる

未来立憲民主ちば会派



mail : info@akiyama-ataru.com
web : https://akiyama-ataru.com

秋山あたる



発行元：秋山あたる後援会
〒264-0005
千葉市若葉区千城台北3-3-10 シティハイムチシロ 102
電話番号 090-3819-3784

政策・理念 『まちづくり』

「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市」

千葉市は 2023 年度から 32 年度まで10年間の市政運営の指針となる基本計画を策定しました。新しい計画のテーマは、「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市」です。

コロナ禍、人口減少などの様々な社会環境が大きく変化する中、千葉市の未来を地域の皆様と描いていけるよう推進役となるよう活動いたします。

計画の中で若葉区の目指すべき姿を『共生の原点 縄文が息づく自然の恵み豊かなまち・若葉区』とあり、若葉区を持つ自然、史跡、文化などの資源を増やし、若葉区の魅力をさらに

磨きあげて行きます。

私は、若葉区をより豊かな『まち』にするための3つの政策「生活・地域」、「教育・文化」、「福祉・健康・安全」、+α「SDGsの普及・推進」を掲げています。私個人のみならず千葉市議会への信頼と期待を頂けるよう市議会報告してまいります。

ご意見や感想をお待ちしております。誰もがわかりやすい市政に努めてまいります。地域のために小さなことでもお気軽に声をかけて頂けたらと思います。



秋山あたる

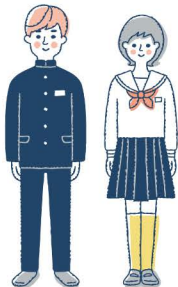
令和4年 第2回千葉市議会定例会・一般質問

千葉市議会で一般質問をしました。

01 校則について ~これからの校則の在り方~

「なぜ、今、校則が社会問題になっているの？」

2017年の大阪黒染め強要裁判をきっかけに校則が注目されるようになりました。昨今では、コロナ対策で防寒着の着用や洗濯しやすい私服を認める学校が増えました。これを機に校則というルールに縛られて多様性を認め合う共生社会の実現に逆行している可能性があるのでは？そんな考え方が校則見直しに広がりを見せています。



校則の見直しを推進

私は、教師、生徒が一体となって「あるべき校則とは何か？」を考えていくことで

未来を担ってゆく子供達が自立し社会で活躍できる人格へと結びつくと考えます。また、社会通念という意味では、保護者、地域を築き上げている皆さんの意見を聞くべきと考えます。そのため、以下のように提言・要望を行いました。

秋山あたるの提言・要望

- 児童生徒の参加による校則の見直しを推進する。
- 校則を見直すに当たって、保護者や地域からの意見を求める。
- 一時的な見直しに止まらず、毎年検証を行い、定期的に見直しの機会を設ける。
- 校則を各校のホームページで公開する。

秋山あたるプロフィール



1991年10月9日生まれ 千葉市出身
2004年 千葉市立更科小学校卒業
2007年 千葉市立更科中学校卒業
2009年 アメリカ・シルバード公立高校交換留学
2011年 千葉県立千城台高等学校卒業
2013年 ワタナベエンターテイメントカレッジ卒業
2019年 千葉市議会議員選挙(若葉区選出)
27歳で初当選 4,321票

2019年度 保健消防委員会
2020年度 総務委員会 環境審議会委員
2021年度 都市建設委員会 都市計画審議会委員
広報委員会委員
2022年度 環境経済委員会 副委員長
「幹を強くする千の葉の会」ボードメンバー
「校則と児童生徒指導を考える地方議員連盟」事務局長
【その他】
舞台・朗読劇で松方弘樹氏や若林豪氏と共演
千葉県テニス選手権・ダブルス 優勝

02 部活動について～地域スポーツへ移行～

令和4年 第2回千葉市議会定例会・一般質問

どうなるの？運動部活動の地域移行

教員の働き方改革、少子化の進展などの社会情勢を踏まえ、公立中学校の休日部活動を地域団体や民間事業者に委ねる「運動部活動の地域移行」が2025年度*までに完了するよう提言されています。



* スポーツ庁および文化庁は12月27日に公表のガイドラインで2025年度末としての地域移行の達成目標は設定しない方針に転じ「地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す」とした。

関係者間の体制整備が急務

私は、子供たちがスポーツをする機会、部活動を通じて成長する機会を継続的に確保して頂きたいと考えています。そのため、学校や地域、スポーツ界など各方面の関係者が一緒に取り組む必要があります。

秋山あたるの提言・要望

- ✓ 多くの関係者が意見交換を行う協議会・検討委員会を設置し、地域スポーツ環境の構築をするよう要望。
- ✓ 部活動の受け皿となるスポーツ団体の実態調査、意見交換を早急に行うことを要望。
- ✓ 教育委員会・保健体育課、スポーツ振興課、他関係部署との連携しての取組を要望。
- ✓ 経済的に困窮する家庭への支援策を検討するよう提言。

03 パラスポーツの普及～共生社会の実現～

令和4年 第3回千葉市議会定例会・一般質問

パラスポーツを通じた共生社会の実現

千葉市はパラリンピック開催を契機にパラスポーツの認知や障がい者への理解と共感を深めるとともに多くの障がい者がスポーツ活動に参加できる環境を整備しています。

「ちばしパラスポーツコンシェルジュ」は障がいのある方が地域のスポーツ活動に参加するためのつなぎ役として、コーディネーターがスポーツ団体等とのマッチングを行っています。



パラスポーツの普及啓発・支援

私は、誰でも一緒に参加できるツールの一つとしてスポーツは大きな力になると考えます。そこで、パラスポーツの普及、アスリートへの支援策の拡充を提言・要望しました。

秋山あたるの提言・要望

- ✓ ちばしパラスポーツコンシェルジュの運用体制を強化することを要望。
- ✓ パラスポーツの世界大会を千葉市への誘致を要望。
- ✓ トップアスリートの育成・活動支援することを要望。
- ✓ 2025年東京デフリンピック開催を周知、啓発活動を要望。
- ✓ ゆるスポーツの体験会を設け普及への取組を提言。

デフリンピック(Deaflympics)とは？

デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「ろう者のためのオリンピック」です。(出典：一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会)

ゆるスポーツとは？

年齢、性別、運動神経にかかわらず、誰もが楽しめる新スポーツ、超高齢社会でスポーツ弱者が多い日本だからこそ生み出せるみんなのスポーツです。(出典：一般社団法人世界ゆるスポーツ協会)

特別対談

千葉の未来を語ろう！

熊谷俊人千葉県知事、神谷俊一千葉市長、鈴木陽介四街道市長と「千葉の未来を語ろう！」をテーマで対談しました。

対談の内容は次回特別号にて掲載します。



※対談は、十分な距離の確保、換気の実施など、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、実施しました

秋山あたる後援会より

ご支援・ご協力をお願い

秋山あたるは、「若葉区を千葉市を誰もが住んでよかった！」と感じるまちづくりを目指しています。

秋山あたるを応援いただける方は、右記「秋山あたる公式サイト・サポーター登録」へのQRのリンクから登録、または事務所までご連絡していただき、ご意見やコメントをお寄せください。



「幹を強くする千の葉の会」

千葉県知事熊谷俊人氏と連携する市町村議員が新たなネットワークで千葉県の特徴を活かし、更に伸ばしていくことを目指す団体です。

秋山あたるは事務局の中心として積極的に参加しています。

